



©2011 映画「八日目の蟬」製作委員会

映画「八日目の蟬」

平成23年には角田光代の小説『八日目の蟬』が映画化。あたたかい人情や風景など、島ならではの風土が描かれました。醬の郷や福田港、中山千枚田など、多くのスポットがロケ地になっています。

主な映像作品とロケ地



映画

「二十四の瞳」二十四の瞳映画村、坂手港、池田の棧敷など
「八日目の蟬」福田港、寒霞溪、洞雲山、中山千枚田など
「魔女の宅急便」寒霞溪、坂手港、Dutch Café Cupid & Cottonなど
「ぼくとママの黄色い自転車」道の駅 小豆島オリーブ公園など

ドラマ

「八日目の蟬」醬の郷など
「Nのために」城山桜公園など

CM

- ・ダイハツ第3のエコカー
- ・トヨタパッソ
- ・キャノンwebドラマ



©2014「魔女の宅急便」フィルムパートナーズ

映画「魔女の宅急便」

原作は角野栄子の世界的ベストセラー『魔女の宅急便』。少女キキが一人前の魔女になるための成長を追った物語で、Dutch Café Cupid & Cottonや坂手港、寒霞溪などが舞台となっています。



道の駅 小豆島オリーブ公園は「魔女の宅急便」で使用されたパン屋さんのロケセット（現「雑貨コロコ」）の他、インスタ映えスポットが満載。